

# 日本でのオープンループ

2018/1/24

Tomoaki Nakajima @irix\_jp



- 中島倫明 (Tomoaki Nakajima) @irix\_jp
  - ✓ レッドハット株式会社 ソリューションアーキテクト
    - OpenStack, Ansible を中心に、クラウド基盤とその活用と自動化を専門
  - ✓ enPIT 講師 (東京大学 S1/S2 クラウド基盤構築担当)
  - ✓ 国立情報学研究所 TOPSE講師 (クラウド基盤構築演習)
  - ✓ 高度ITアーキテクト育成協議会 (AITAC) 講師 (自動化)
  - ✓ クラウド利用促進機構 技術アドバイザー (クラウド)
  - ✓ 日本OpenStackユーザ会 ボードメンバー (初代会長 2013-2015)

2018年  
発売予定

乞うご期待



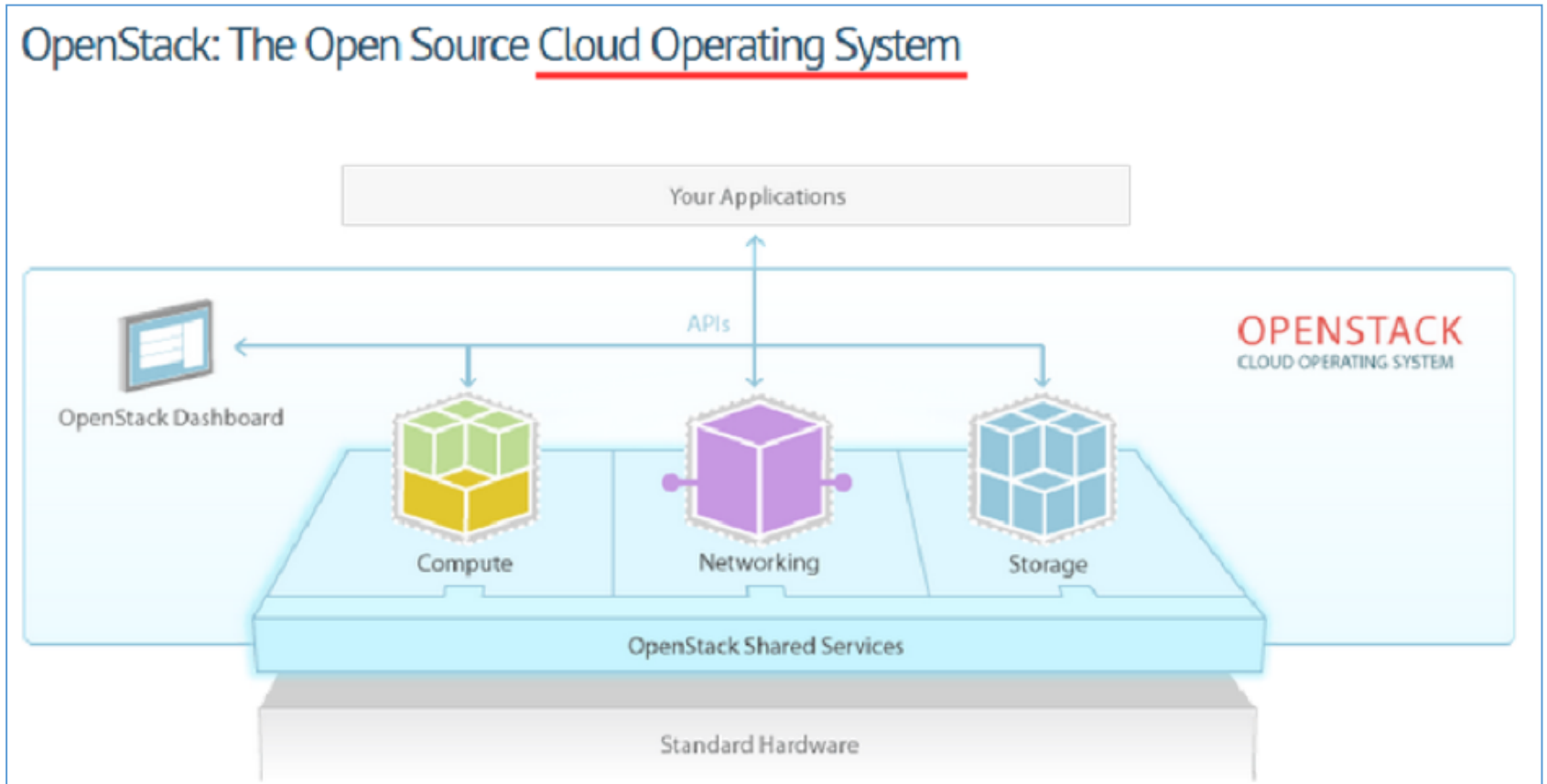
- 半導体製造業向けのシステム・インフラ開発（2004～2010）
  - ✓ ここからOSSとの付き合いが始まる
  
- リーマンショック、東日本大震災を経て・・・
  
- OpenStackを中心とした技術開発（2010～2016）
  - ✓ コミュニティを通じた市場の啓蒙、育成
  - ✓ クラウドネイティブな新しいソフトウェア開発
  
- 現職（2017～）
  - ✓ クラウド、自動化を中心に顧客の課題の解決をサポート

# OpenStack と コミュニティ

---

# OpenStack とは

- クラウド基盤ソフトウェア



# OpenStack ユーザ会

- 国内のOpenStack普及活動・人材育成を目的に2010年に発足。
  - ✓ 30以上の企業と団体によって運営されています。
  - ✓ 参加メンバー数は2000名弱。
- 公式サイト：<http://openstack.jp/>
- 主な活動
  - ✓ 勉強会の企画・開催（セミナー、ハンズオン）
  - ✓ MLでの情報交換
  - ✓ マニュアル翻訳、UI日本語化 など
- 参加するには



openstack



Google Search

I'm Feeling Lucky

## ■ OpenStack Foundation

- ✓ 2012年に発足した非営利団体。OSS関連の団体として世界最大規模
- ✓ OpenStack開発コミュニティを支援、普及促進活動、そのための資金調達や法的な保護も含む。
  - ユーザ会はこの下部組織であり各国での普及啓蒙・人材育成等を担う

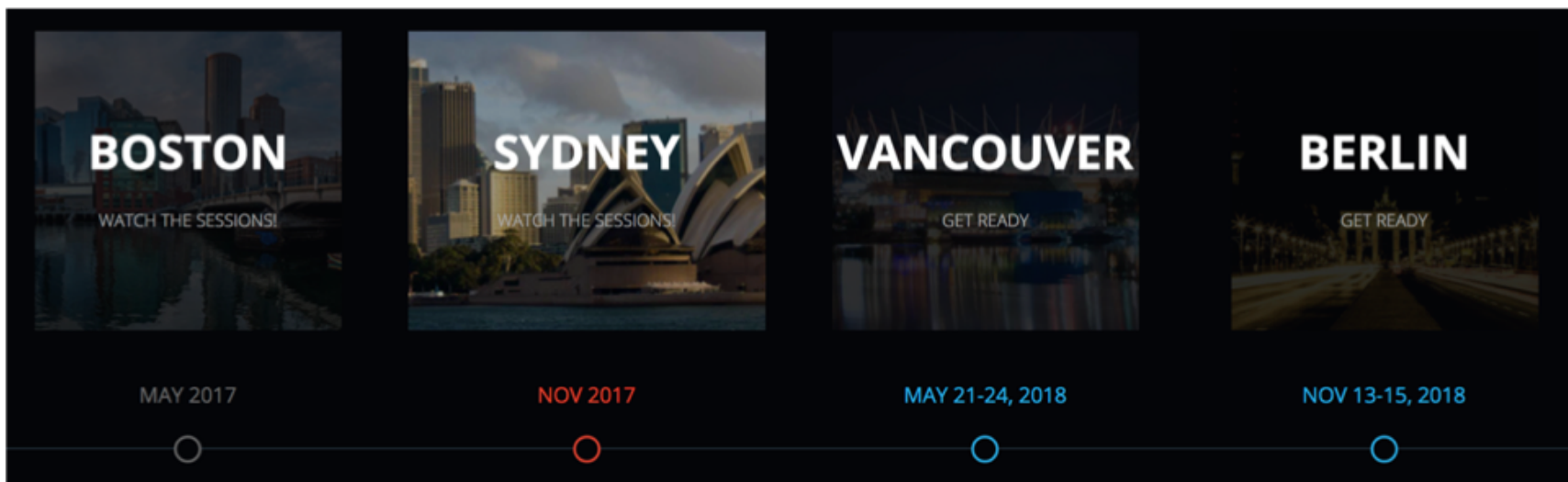


<https://groups.openstack.org/>

## ✓ より詳細な紹介

- <https://www.openstack.org/foundation/>
- [http://openstackdays.com/archive/2016/wp-content/uploads/2016/07/O2\\_OpenStack-Foundation-Session-rc5.pdf](http://openstackdays.com/archive/2016/wp-content/uploads/2016/07/O2_OpenStack-Foundation-Session-rc5.pdf)

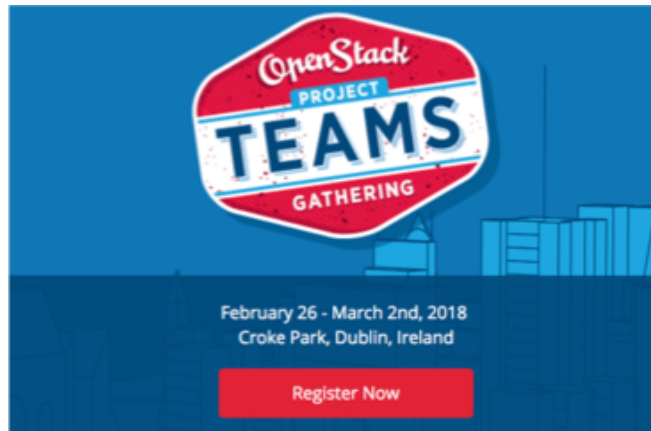
- 単独のOSSイベントとして最大規模。年2回開催。



<https://www.openstack.org/summit/>



- 開発者向けイベント



<https://www.openstack.org/ptg/>

- 利用者向けイベント



<https://wiki.openstack.org/wiki/Operations/Meetups>

## OpenStack Days Tokyo 2018

2018年8月2日(木) - 3日(金) | ベルサール東京日本橋

～ Toward Cloud-Native ～

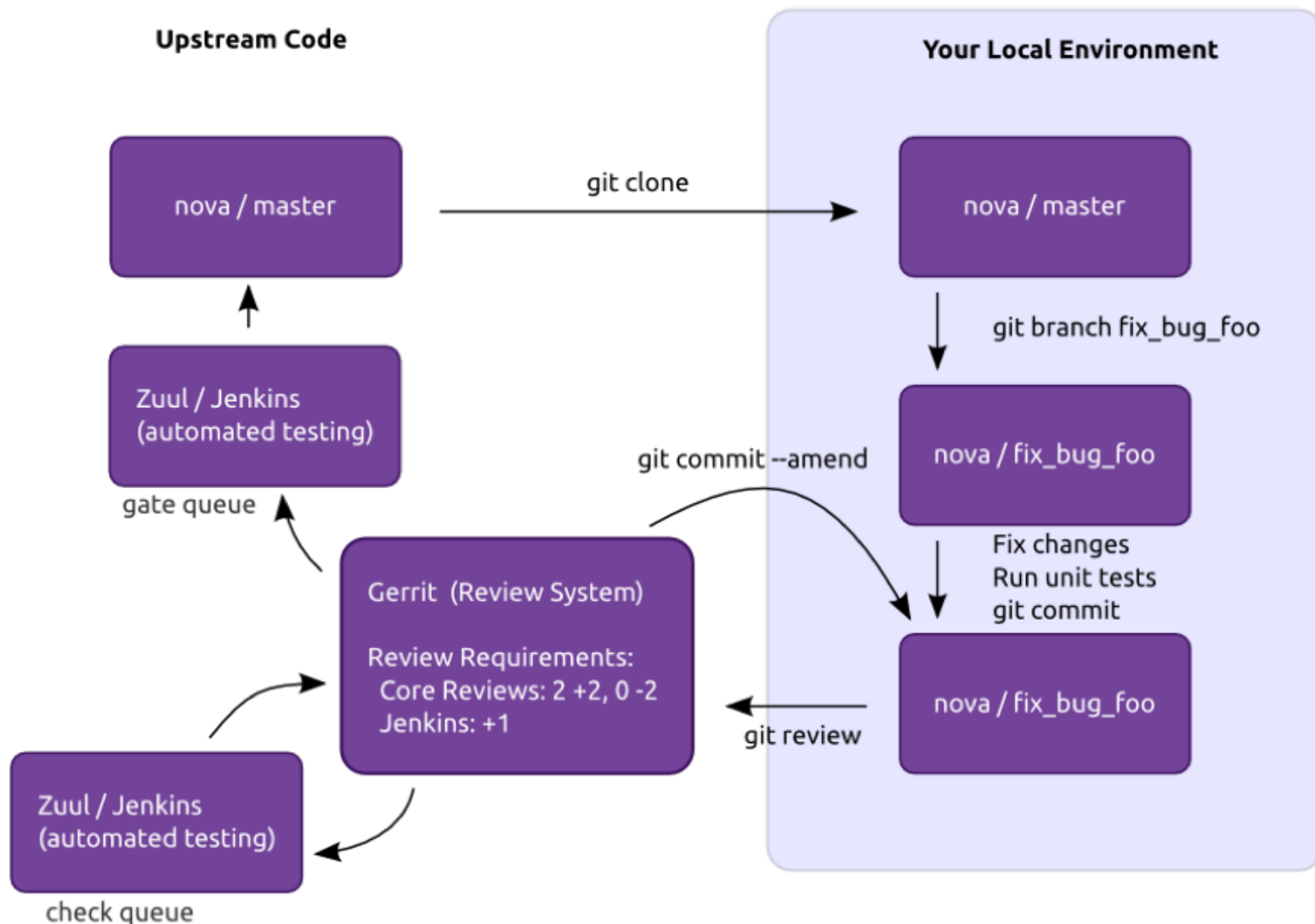
<http://openstackdays.com/>

- 国内6回目となるイベント 1000～3000人規模
  - ✓ 国内の情報を集約して発信する場
  - ✓ ビジネス、技術、事例の情報
- スポンサー募集中！

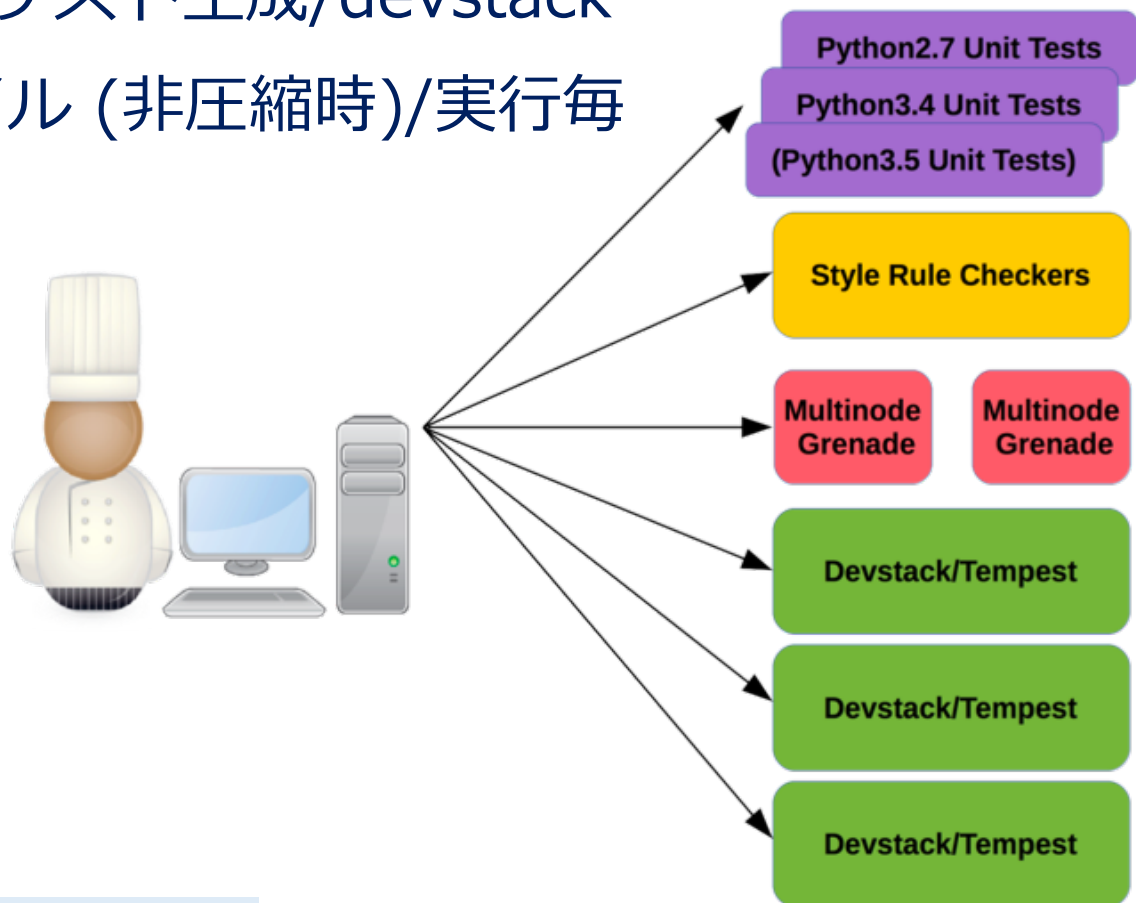
# OpenStack の品質管理

---

## ■ コード管理の流れ



- 1つのパッチで行われること:
  - ✓ 5-25 Devstacks
  - ✓ ~10,000 integration tests (約1.5k/devstack)
- ~151 2ndレベルゲスト生成/devstack
- ~1 GBログファイル (非圧縮時)/実行毎

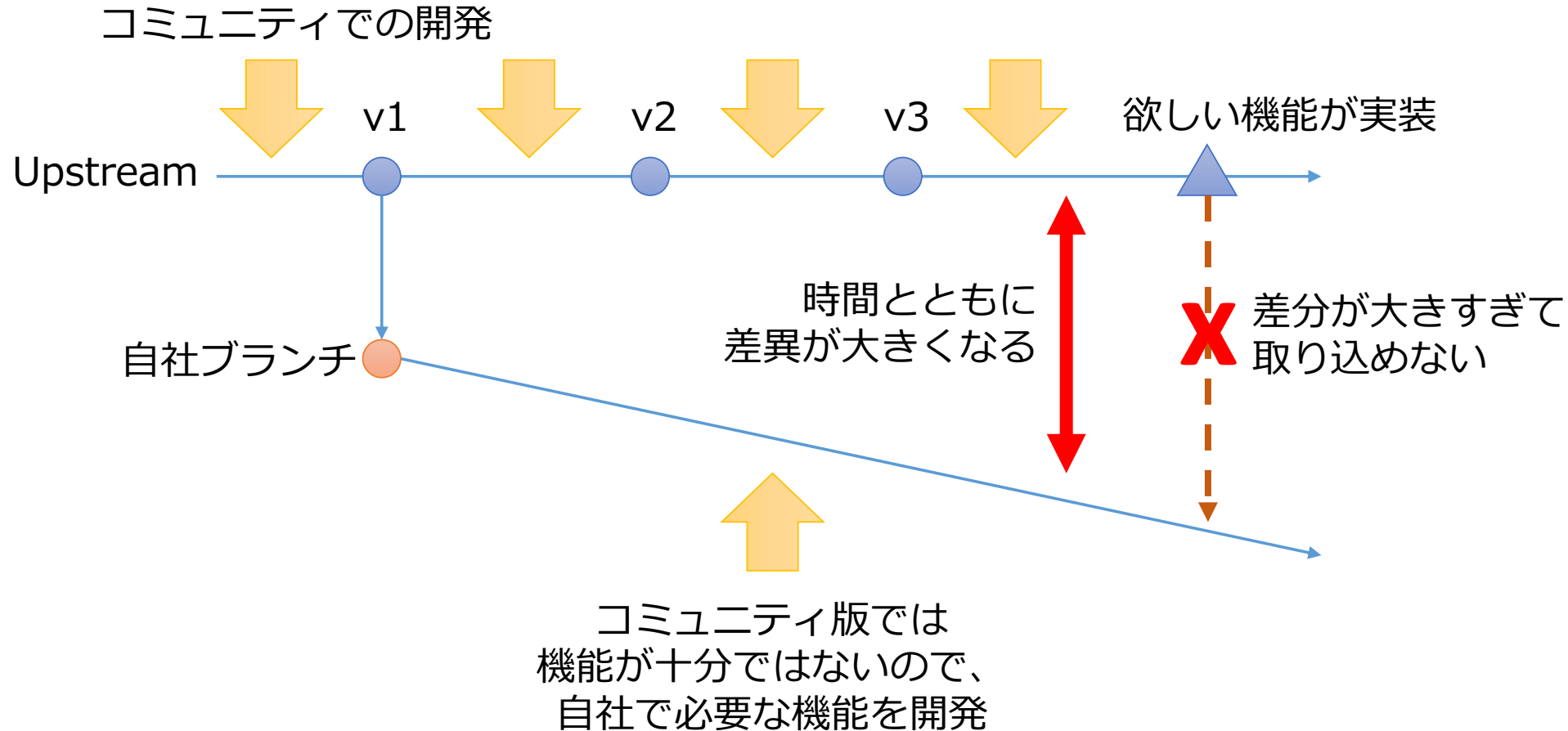


# ユーザーとOpenStackの関係

---

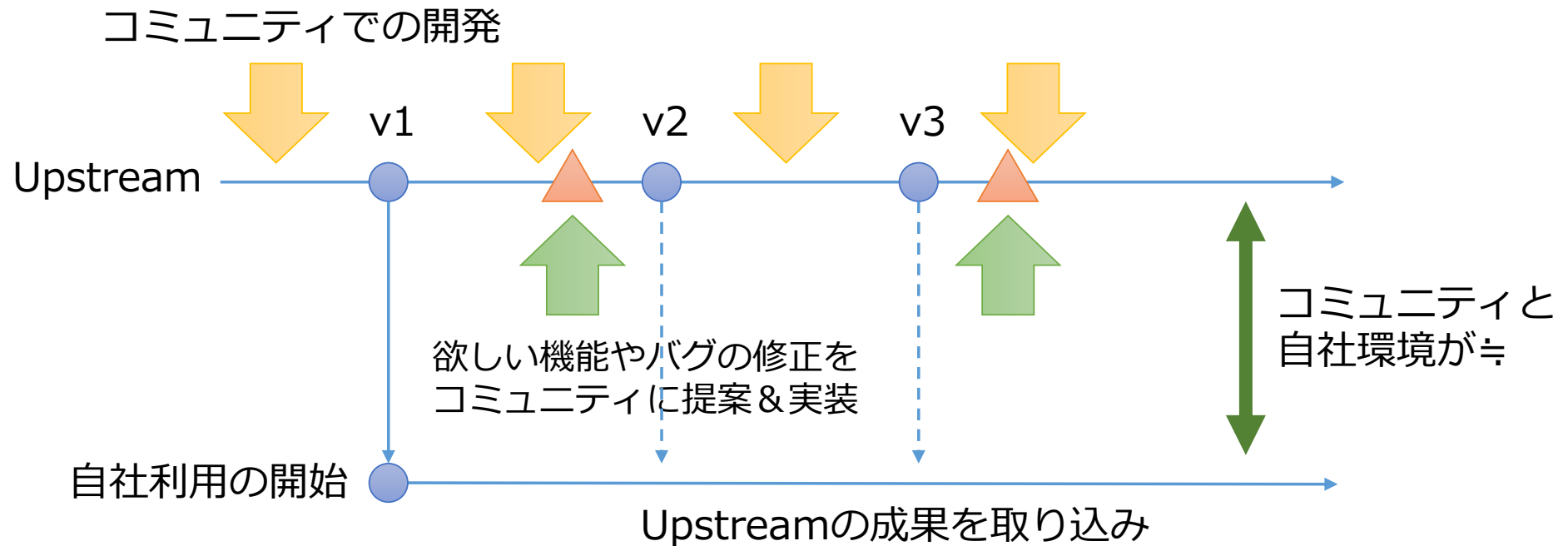
# 進化するOpenStackのユーザー

## ■ 従来のOpenStack活用スタイル



# 進化するOpenStackのユーザー

## ■ アップストリームファースト



[https://www.ituaj.jp/wp-content/uploads/2017/10/2017\\_10-02-Special-RedHat.pdf](https://www.ituaj.jp/wp-content/uploads/2017/10/2017_10-02-Special-RedHat.pdf)

<http://www.ntt.co.jp/journal/1712/files/JN20171220.pdf>

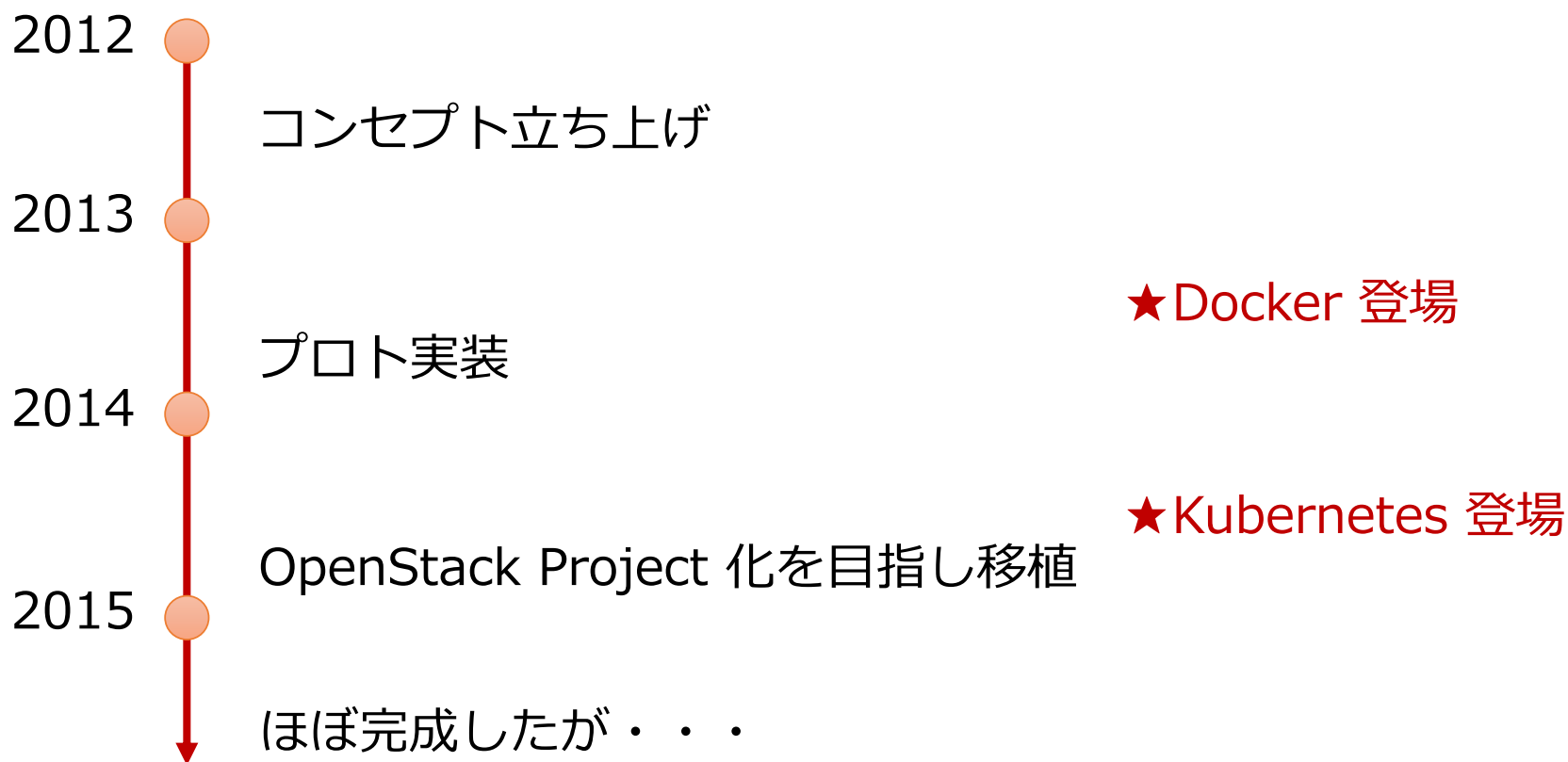


# OSSプロジェクトの難しさ

---

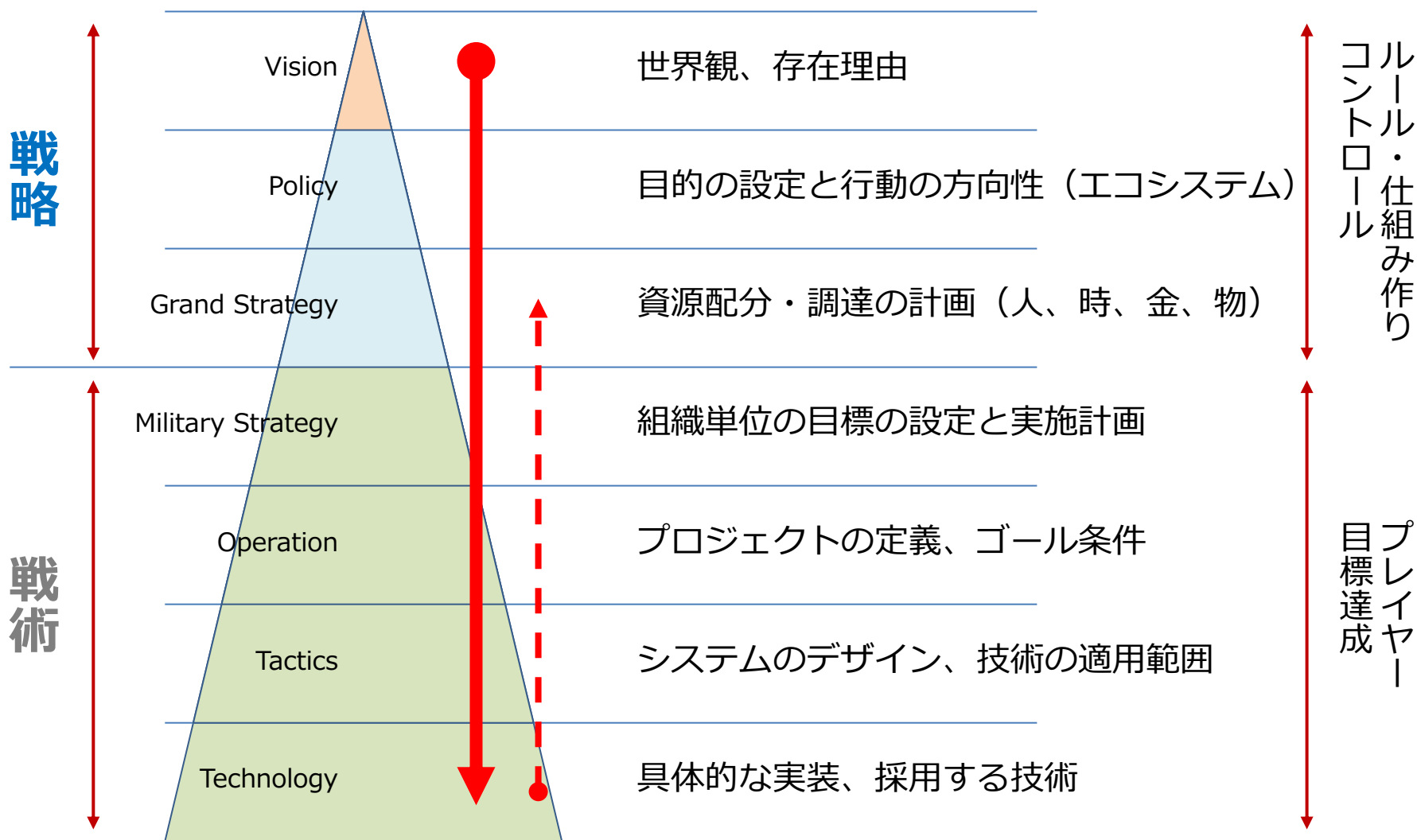
# OSSプロジェクトを立ち上げて拡大させる難しさ

- <https://wiki.openstack.org/wiki/RACK>
  - ✓ 今でいう k8s のようなソフトウェア。
  - ✓ VMをプロセスのように扱い、大規模な分散システムの開発運用を容易にする。



# OSSプロジェクトを立ち上げて拡大させる難しさ

- 技術よりも先に世界観の確立が必要だった



# まとめ

---

- 世の中は変化するという大前提がある
  - ✓ 当たり前だけど、時としてみんなが忘れてしまう。
  - ✓ 停滞すれば相対的な退化、世の中との断絶につながる。
- 変化を前提とした仕組み作り
  - ✓ 多様な意見を取り入れつつ、継続的な品質の維持
  - ✓ アップストリームファーストという新しい活用の方法
- 世界観を発信する
- OpenStack のイベントにもぜひご参加を
  - ✓ OpenStack Summit
  - ✓ Ops Meetup (Tokyo)
  - ✓ OpenStack Days (Tokyo)



ご静聴ありがとうございました